

## 瀬戸内タウンミーティング（笠加地区）

平成 23 年 11 月 17 日（木）19 時～21 時

笠加コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 9 人、女性 5 人、計 14 人

### 行政報告に対する意見と市長の回答

- ・ **台風で雨がどしゃ降りだった際に、防災無線の内容が全く聞こえない。他市（赤磐市）では、高齢者に対して 1,000 円で無線機を配布しているらしい。瀬戸内市では配布はできないのか。また、LED ライトを高齢者全員に配布もしているが。**

（市長）無線機は、4、5 万すると聞いている。そのような金額で配布するのは難しい。防災無線の内容が聞き取れないというお話はよくいただく。

携帯電話でメールマガジンの登録をすれば、放送と同じ内容がメール配信される。また、専用の電話番号があり、そこへ電話をすれば放送の内容が聞けるようになっており、現在はその形で対応をお願いしている。

- ・ **年寄りには、メールはよく分からない。**

（市長）メルマガの登録方法も分かりやすくする必要がある。

- ・ **下笠加で増水した際に、連絡網を使ったが、最後まで回りきるのに 1 時間以上かかった。連絡網という手段は、大変難しく、内容が変わって伝わってしまうことがある。各ブロックにお任せというのは大変。緊急時の連絡網を工夫する必要があるのでは？今、研究はしているのか？**

**安心・安全の観点から 1 番に、防災への取り組みをもっとしてほしい。**

（市長）携帯電話を持っていない人もいる。携帯だけでは伝わらない部分については、補完する方法をしっかりと考えていかないといけない。

- ・ **防災放送塔をつけたというが、緊急の情報は全く住民に伝わっていない。**

（市長）サイレンが聞こえることが大前提で設置をしている。後から、放送塔を建てるとなると補助もなく、相当な費用がかかる。どう補うかは今後考えていかないといけない。なるべく税金を使わず、充実させていきたい。

- ・ 市役所は、すぐに時間とか検討という言葉をよく使う。災害はいつ起こるか分からないので早急に対応してもらいたい。

- ・ 病院のあり方について、柱をハッキリ立ててほしい。

(市長) 地域包括ケアを柱に考えている。地域の病院とも連携し、患者の立場に立った病院を作りたい。現在の財政状況では、7億円カットしないといけな  
い。皆さんからいただく税金が20~30億をいかに使うかも考えないといけな  
い。

- ・ ゴミステーションの常夜灯について早速取り組んでいただきありがたい。

- ・ 学校の件について、現在統廃合の話が出ているが、平成19年の時にある程度骨子はできていた。その後、市長が変わり、教育長が変わりで話が途切れていたが、また急に統廃合の話が出てきて、住民は戸惑っている。人が変わっても、制度が変わっても基本的なぶれないものを1本持ってスピード感をもってやってもらいたい。

(市長) 市役所と民間とでは、利害関係者の数が圧倒的に違う。結論が同じでもやり方を間違えると全く違った結果になるし、失敗してしまうこともある。今回の学校の件もそうであるが、色んな声が出てくるし、今でている内容で進んでいいのか、よく検討して進めていきたい。

- ・ 瀬戸内市の財務内容はいいのか聞きたい。

(市長) よくなってきている。

- ・ その上でお聞きするが、他市町村と比べて瀬戸内市の固定資産税は高い。

(市長) 評価が高いのでは。税率は同じである。

- ・ 財務内容が悪いのに、病院・図書館など無理をしてやる必要があるのか？

(市長) 10年間の収支見通しを立ててやっている。財務内容はよくなっているし、積立もできている。10年後を見据えて儉約できるところは儉約していく。やれるものはやっていきながら削れるものは削る。同時進行で進めていく必要がある。

- ・ 新見市が財政がいいと聞くが。

(市長) 過疎地域指定を受けているから地方交付税額が大きいのではないか。本市は借金を残すのではなく、自主財源を増やしておかないといけない。

- ・ 高齢者の人口や有効性から、市民への負担は少なくしてほしい。市の方向性

**を具体的にハッキリと示してほしい。**

(市長) 行革には色んなやり方がある。補助金や医療の無料化をカットする等。サービスをカットすれば財政はよくなるがそういうわけにはいかない。今はなんとかやりくりしてやっている。住民の生活に影響が出てくるところは、話をしながらやらないといけませんが、問題を先送りにしないように柱を持って進めていきたい。

#### 地域資源と活性化について、意見交換

- **笠加で毎年2日間で実施しているとうもろこし祭りは、来年(H24年)から中止になる方向。組織の問題だが、行事をする上で一部の人に偏ると負担が大きくなり続かない。地域資源を活かした地域活性化をというが、やろうと思ってもどうすればいいか分からない。そういうことが学べるような研修の場を作してほしい。**

(市長) 市民活動応援補助金を活用している団体では、研修を行っている。今実際に活動をされている方だけでなく、新規団体の掘り起しができるような仕組みづくりは大切。実現できるように検討していきたい。

- **学芸館のグラウンドについて、制約は出てくるが地域にも貸してはくれる。ただ自由には使えない。南にもグラウンドが予定されているが、できるだけ地域も使えるようにしてもらいたい。**
- **がき山の桜。がき山については、笠加コミュニティと八幡とが一緒に管理をしている。今年、バーベキューをして火をつけたままにしていた事があった。注意をしたら、市役所へ文句を言ったらしい。**

- **がき山は、「牡蠣山」が濁ってがき山になったとも言われている。**

- **ひょうたん池の奥の方でぶどうを何種類か作っている。ひょうたん池の活用をもっとしていけばいいのではないか？**

(市長) 現在は無償で引き取って、市のものになっているはず。フェンスは最低限直す。グランドゴルフ場をつくってほしいなど、要望は多くある。なぜあそこだけするのかという話にもなるので、計画性をもって進めていきたい。

- **まんだら。宇喜多秀家と関係がある尼寺跡がある。市のHPには載せているのか？淳風小学校の校歌などの資料もあるはず。**

(市長) そういった金庫の中にある貴重な資料やデジタル情報なども、図書館

で保存ができるようにしたい。

- 岡山空港などに瀬戸内市の観光パンフレットが置いてあるが、外のPRだけでなく地域情報を内でも共有することが大切ではないか。市民へも情報提供をし、共有できるようにしてほしい。
- 瀬戸内探訪ツアーを企画してはどうか。
- 民生委員の研修会など、人が集まるような機会を利用して地域のことを知る場を設けてほしい。
- 南北道について、南北道という名前が悪い。ネーミングを考えたらイメージが変わるのではないか。木を植えてけやきロードとか、愛される道路にしてほしい。

(市長) おもしろい発想。検討してみたい。